

各 位

会 社 名 株式会社 石井 工作 研究所
 代 表 者 名 代表取締役社長 石井 見 敏
 (コード番号・6314)
 問 合 せ 先
 役 職 ・ 氏 名 取締役総務経理部長 辻 野 治 弘
 T E L (097)544-1001

業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年8月12日に公表した業績予想につきまして、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成22年3月期業績予想の修正等

(1) 第2四半期累計期間(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前 回 予 想 (A)	640	△ 470	△ 425	△ 425	△54 円 67 銭
今 回 修 正 (B)	540	△ 638	△ 634	△ 637	△82 円 05 銭
増 減 額 (B-A)	△ 100	△ 168	△ 209	△ 212	—
増 減 率	△15.6%	—	—	—	—
(ご参考) 前 期 第 2 四 半 期 実 績 (平成21年3月期第2四半期)	2,148	321	338	167	21 円 61 銭

(2) 通 期 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 回 予 想 (A)	2,000	△ 680	△ 575	△ 575	△73 円 97 銭
今 回 修 正 (B)	1,700	△ 1,000	△ 950	△ 950	△122 円 21 銭
増 減 額 (B-A)	△ 300	△ 320	△ 375	△ 375	—
増 減 率	△15.0%	—	—	—	—
(ご参考) 前 期 実 績 (平成21年3月期)	3,194	△ 28	△ 6	△ 154	△19 円 92 銭

(3) 修 正 理 由

昨年の秋以降の世界同時不況の影響により急速に悪化した国内景気は最悪期からは脱しつつありますが、設備投資の回復が依然として遅れております。

当社の売上げの9割強を占める半導体関連事業においては、8月の業績修正以降も主要取引先である半導体メーカーの設備投資が当社の想定した水準を下回るものとなり、半導体製造装置の受注は低調なまま推移し、したがって第2四半期累計期間の売上高は前回発表の予想を100百万円下回り(減少率15.6%)、前年同期比74.8%減の540百万円となる見込みであります。

損益につきましても、引き続き原価低減と経費節減に取り組んでおりますが、受注が伸び悩み、また、受注競争の一層の激化により価格引下げ圧力が強く、営業損失は前回発表の予想に比べて168百万円増加し、638百万円となる見込みであり、経常損失は前回発表の予想に比べて209百万円増加して634百万円、四半期純損失は前回発表の予想に比べて212百万円増加して637百万円となる見込みであります。

通期の業績予想につきましては、半導体メーカーの操業率が高まったこともあり、設備投資の動きがうかがえることから、受注は第1、第2四半期に比較すると増加するものと予想しておりますが、回復力は弱く、売上高は前回予想を300百万円下回って1,700百万円(減少率15.0%)に修正いたします。

損益につきましても、受注条件がさらに厳しさを増しており、営業損失は1,000百万円(前回予想比収益減少額320百万円)、経常損失は950百万円(同375百万円)、当期純損失950百万円(同375百万円)に修正いたします。

※ 上記記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

※ 将来の事象に関わる記述に関する注意

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上